

Grand Toit News

「Grantニュース」vol.81
令和7年2月発行
発行：島根県芸術文化センター



Grantニュース

vol. 81
Spring 2025

島根県芸術文化センター
SHIMANE ARTS CENTER
石見美術館
IWAMI ART MUSEUM
いわみ芸術劇場
IWAMI ARTS THEATER

企画展紹介 「中世の石見地域の美術工芸品が集結！」

劇場事業紹介 「祝 開館20周年 『伝統』と『未来』をテーマに
しまね伝統芸能祭を開催」

- わたしのおすすめ
- 報告します ほか

おかげさまで
開館20周年！

中世の石見地域の美術工芸品が集結！

今回は開館20周年記念企画展「石見の祈りと美—未来へつなぐ中世の宝—」について、展覧会担当の角野広海学芸員にみどころをうかがいました。

今回はどんな内容なのでしょう
か？

取り上げるのは平安時代末から安土桃山時代までの「中世」と呼ばれる時代です。その時代の石見地域（現在の島根県西部）では、豊かな文化が花開き、数多くの美術工芸品が制作されました。それらはなぜ生み出され、どのような役割を担っていたのか。今回はその疑問を紐解きながら美術工芸品を展示し、当時の人々の価値観や美意識について紹介します。例えば平安時代から鎌倉時代にかけての仏像は、美術品であるよりも前に、救いを求める人々の祈りが込められていました。今回は、石見地域に伝わる数多くの仏像（図1）も紹介します。

他にはどのような作品が展示されるのでしょうか。

石見地域を治めていた領主



図2 雪舟等楊《益田兼堯像》
文明11年(1479)
益田市立雪舟の郷記念館蔵
重要文化財
【展示期間:4月26日
～5月19日】

たちの肖像画や愛用の品も展示し、それらが果たしていた役割についても紹介します。例えば、雪舟等楊が描いたことで有名な《益田兼堯像》(図2)には、益田の名僧である竹心周鼎による賛(漢詩文)が記されています。それを読むと、益田家雑掌の中村美濃守信為という人物が、「不二庵」という庵を造り、そこに兼堯像を安置していたことがわかります。兼堯像の前で実際にお香も焚いていたようですので、主君をお祀りする意識があったと考えられます。兼堯像に描

図1 《阿弥陀如来立像》 文永7年(1270)
江津市・清泰寺蔵 島根県指定文化財
【展示期間:4月26日～6月16日】



かれる衣服の色のほとんどが落ちてしまっていますが、おそらく長く使用されていたためだと思われます。

その他にも、雪舟の弟子や孫弟子たちについても紹介します。展覧会全体の出品総数は約60点ですが、前期と後期で大幅な展示替えがありますので、ぜひ両方ご覧ください。国指定文化財としては重要文化財16点、島根県指定文化財11点、益田市指定文化財5点、山口県指定文化財2点、岩国市指定文化財1点が含まれます。

サブタイトルに「未来へつなぐ」とありますが、どういう意図があるのでしょうか。

中世に制作された美術工芸品のほとんどは、今日までの間に破損・紛失・焼失などによって無くなってしまったと思われます。そのような状況下で、中世の美術工芸品が今日まで残されているのは、それを守り未来へつなぐという人々の営みが続いてきたためです。今回はその営みにも注目し、展示品がどのよう

な伝来を経て現在に至るのかについても可能な限り紹介します。例えば、中世に益田（現在の島根県益田市）を本拠とし、近世には萩藩毛利家の永代家老として活躍した益田家には、美術工芸品も多数伝わりました。益田家家臣の内田氏より益田家へ献上されたという《太刀 銘成高》(京都国立博物館蔵)、益田家当主の益田宗兼が足利義植より拝領したと伝わる《小袖 白茶地桐竹模様綾》(図3)、益田家伝来の雪舟等楊筆《四季花鳥図屏風》(京都国立博物館蔵)など、今回は益田家伝来品も可能な限り集め、展示します。

最後に読者の方々へメッセージをお願いします。

普段はなかなか見ることができない貴重な作品を多数展示しますので、ぜひこの機会に多くの方々にお越しただけたらと思います。本展が、改めて石見地域の歴史文化を守り未来へつなぐ、そのきっかけとなりましたら幸いです。



図3 《小袖 白茶地桐竹模様綾》
室町時代・16世紀 東京国立博物館蔵
重要文化財 Image: TNM Image Archives
【展示期間:4月26日～5月19日】

祈りと美—未来へつなぐ中世の宝—

開館20周年記念企画展

2025 4/26(土) → 6/16(月)

【前期】4月26日(土)～5月19日(月) 【後期】5月21日(水)～6月16日(月)

【開館時間】9:30～18:00(展示室への入場は17:30まで)
【休館日】毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)、4月30日、5月7日
【観覧料】当日券:一般1,300(1,050)円、大学生600(450)円
前売券:一般1,100円、大学生500円

※()内は20名以上の団体料金。 ※各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、およびその介助者(1名まで)は入場無料。 ※前売券は、Grant総合案内カウンターおよびオンラインチケット「シマケ」(WEBサイト)でお求めいただけます。 ※Grant総合案内カウンターでの前売券の取扱いは開館前日まで。

【主催】島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ
【協力】東京大学史料編纂所 【後援】芸術文化とふれあう協議会、益田市、萩市

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター「Grant」内

シンポジウム① 「益田家の至宝とその伝来」
日時:5月10日(土) 13:00～16:00
会場:Grant小ホール
登壇者:小山 弓弦 葉 (東京国立博物館・学芸部調査研究課長)
重田麻紀 (須佐歴史民俗資料館・特別学芸員)
角野広海 (島根県立石見美術館・主任学芸員)
中司健一 (益田市歴史文化研究センター・主任)
西田友広 (東京大学史料編纂所・中世史料部門准教授)
森 道彦 (京都国立博物館・学芸部 主任研究員)
主催:益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
申込不要/参加無料/先着400名

シンポジウム② 「近世益田家と須佐の歴史文化—萩藩石見境の実相—」
日時:5月11日(日) 13:30～15:30
会場:萩市須佐文化センター
主催:萩市
申込不要/参加無料/先着300名

※シンポジウム①・②の詳細は益田市、萩市の公式ホームページをご覧ください。

石岡瑛子さんの展示を観賞しに来て来ました。作品・言葉ともに心と感覚に響くもので、来て良かったです。楽しませていただきました。(福山市・50代/企画展「石岡瑛子 デザイン」)
どの曲も聴きごたえがありましたが、即興が特に素晴らしいかったです。ホールとはまた違った趣ある建物で演奏者の方との距離も近く贅沢な時間でした。(益田市・40代/尺八×箏アンサンブル「山粧ふ 里にこだます音楽会」)
どのバンドも甲乙つけがたい素晴らしい演奏でした。なにより、演奏することが楽しくて楽しくて仕方ないという気持ちが表情に表れているグループが多いのが良かったです。(山口県・60代/ビッグバンドフェス島根)



中山晃子「Alive Painting」イメージ

しまね伝統芸能祭を開催

「伝統」と「未来」をテーマに

2005年に芸術文化の拠点施設として開館したグラントワは今年で20周年を迎えます。令和7年度は、これまで築き上げたグラントワの特色を活かし、地域に根差した様々な周年事業を実施していきます。その柱の一つとして「しまね伝統芸能祭」を開催します。

しまね伝統芸能祭とは

周年事業の柱の一つとして開催する、しまね伝統芸能祭。「伝統芸能×未来～原点を見つめ、ともに歩み、未来を拓く～」と題し、島根県民会館（松江市）と協力し県内各所で伝統芸能を紹介する交流公演や若年層継承者の発表公演、地域芸能を活かした舞台作品の創作など様々な催しを開催します。世代を超え、多様な芸能の魅力を共有し未来への継承へ繋がります。

新たな作品の創造に挑戦

4月27日、グラントワ中庭広場を舞台に展開する創造作品

『渡来バード、ドライバー』を「しまね伝統芸能祭」のオープニング公演として開催します。

出演は、音楽家の大口俊輔さん、小鼓奏者の福原千鶴さん、独自の音声言語と韻律の探求を続ける志人さん、画家の中山晃子さん。それぞれの分野で独創的な活動を行い、国内外から注目を集める表現者4名が石見地域に滞在しリサーチを実施、多様な伝統芸能の原点である自然・風土・生活文化へまなざしを向けた、新たな作品の創造に挑戦する試みです。新たな解釈・表現により、地域の魅力が掘り起こされ、未来に向けて新しい創造の可能性が広がることを目指しています。



『渡来バード、ドライバー』

12月に現地リサーチを実施

作品づくりのため、昨年12月に石見地域の様々な場所（大田市の三瓶小豆原埋没林公園、琴が浜、江津市の風の工房 石州

勝地半紙、大元神楽伝承館、浜田市の金城民俗資料館、石州和紙会館、益田市の佐毘売山神社など）を訪れました。石見地方の民話が作品の中核となるテーマとして登場するほか、リサーチの際に採取した素材や音を作品に昇華し、発表します。



飯尾山八幡宮（江津市桜江市山）

中庭水盤に大パネルが登場

当日は、グラントワを象徴する中庭水盤を作品に見たて、大パネルを設置します。画家・中山晃子さんが液体から固体までさまざまな材料をあつかい絵を描くパフォーマンス「Alive Painting」を行い、パネルと水盤に流動する色彩を投影します。大口俊輔さんの音楽装置、福原千鶴さんの小鼓、志人さんの声が奏でる音楽と色彩が空間を包み、グラントワ中庭が一夜限りの特別な空間に変わります。水に映る夢幻の世界をぜひご体験ください。

グラントワ開館20周年記念 しまね伝統芸能祭2025 オープニング公演 『渡来バード、ドライバー』

2025年4月27日(日) 日没後 グラントワ中庭広場

[料金] 入場無料・全席自由

[出演者] 大口俊輔(音楽家) / 福原千鶴(小鼓奏者) / 志人(言語) / 中山晃子(画家)

専門学芸員 左近充直美

題名からして惹きつけられる作品です。「ブラジルへ行った」というからには、もう誰も住んでいない家なのでしょう。高く伸びた草木が家のまわりを覆い始めており、人の気配が感じられません。「ブラジル」というワードが直接関係するかは不明ですが、家自体も斜面の多い少し変わった造りのようです。奥に山

のすそ野が広がり、左上に棧橋のようなものも見えるので、本来は風光明媚な湖沿いに建つ家なのでしょう。窓が少ないのは反対側に窓が集中しているからかもしれません。主を失った家はやがて朽ちて、草木に覆われていくのでしょうか。

宮芳平は画学生時代、森鷗外の短編小説『天寵』の主人公のモデルとなり、諏訪を拠点に絵を描き続けました。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection



宮 芳平

《ブラジルへ行った人の家》

1935年頃 当館蔵

報告します!

ダイバーシティいわみ事業 オープンミーティング～石見編～ 「まちと福祉と芸術文化」

オープンミーティングの第5回を益田市のデルマーレキアミで開催しました。海沿いの解放感あふれる会場で、午前は音楽療法士・師井恭子さんのファシリテート、宮川真智子さん、福間志保さんのサポートで改めて音と出会い、楽しく体を動かし、グループで短い作品を作りました。午後は感想を共有したあと、来年2月2日にグラントワ大ホールで行う音楽会「にぎやかな日々」を、障がいや背景に関わらずいろんな人が楽しめる音楽会にするにはどうしたらいいかを話し合いました。

ワークショップ

「日本の布でしおりを作ろう」開催

11月17日(日)、伊予絨や西陣織、静岡県の遠州織物など日本産の布を使ってしおりを作るワークショップを開催しました。日本には多くの繊維産地があり、縮緬やジャガード、緋など日本で伝統的に作られてきた布地を使い、風合いや布それぞれの個性を感じながら作ってもらいました。ボンダや両面テープを使って作るので、お子様から幅広い世代の方の参加がありました。日本産の布を使うということで外国の方にも喜んでご参加いただきました。

INFORMATION

■開館(利用)時間

●グラントワは8:45から開館

石見美術館 9:30～18:00

(展示室への入場は閉館30分前まで)

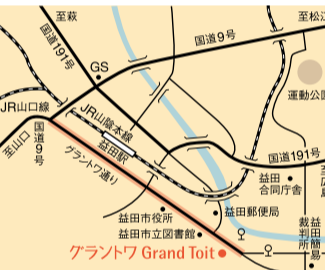
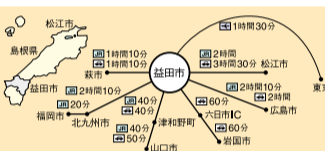
いわみ芸術劇場 9:00～22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)

※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。

石見美術館 毎週火曜日、年末年始

いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始



交通案内

- 石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
- JR益田駅から徒歩15分
- 秋・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
- 浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
- JR新山山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」

〒698-0022 益田市有明町5-15

TEL: 0856-31-1860(代表)

FAX: 0856-31-1884(代表)

e-mail: grandtoit@cul-shimane.jp

www.grandtoit.jp



島根邦楽集団 第19回 定期演奏会

作曲家・川村泰山自身の指揮で演奏する「龍樹」、ジュニア邦楽からゲストの一条乱れぬ演奏まで、邦楽の響きをお楽しみください。

曲目 ●大海原、檣枕、春の歌 ほか
ゲスト ●川村泰山、川村雅巳葵、川村葵山

2025年 3月2日(日)
開場 13:00 / 開演 13:30
いわみ芸術劇場小ホール

チケット好評発売中

入場料 [全席自由・税込]

- 一般: [前売] 1,500円 [当日] 1,800円
- 高校生以下: [前売] 500円 [当日] 800円

グラントワ弦楽合奏団 第12回 定期演奏会

弦楽器の奏でる豊かな響きをお楽しみください。

2025. 3. 9(日) 開場 14:30 開演 15:00
いわみ芸術劇場小ホール

入場料 ※全席自由・税込

- [一般] 前売 1,000円 当日 1,500円
- [高校生以下] 無料 ※未就学児入場不可

プログラム

- アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 全楽章 (W.A.モーツァルト)
- 情熱大陸(葉加瀬太郎) 他

チケット好評発売中

会員制度が新しくなります!

オンラインで劇場のチケットが購入できる!

シマチケWEB会員

美術館のチケットも購入できるようになりました!

お近くのセブンイレブンでもチケット発券!

会員登録方法

シマチケ グラントワHP内の「シマチケ」にアクセス シマチケ 検索

※有料会員「共通カード」「ホール友の会」は廃止になります。※有効期限内は利用可能です

石見美術館ミュージアムパスポート

石見美術館の企画展、特別展、コレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

[年会費(税込)] 一般 3,000円 / 大学生 1,800円

特典

- 提携美術館の観覧料割引 ※県内外18施設(2024年12月現在)
- グラントワ提携店での優待サービス
- 「石見美術館ニュースレター」等のお届け

さらに! 開館20周年を記念して ホームページもリニューアル! 新しくなってより使いやすくなります! 3月20日(木・祝)公開予定!